

TOPIX

修了生が語る ぶぎん経営幹部養成塾の魅力

ぶぎん地域経済研究所では、次代を切り拓く経営幹部の育成を目的に、2011年度から毎年「ぶぎん経営幹部養成塾」（以下、養成塾）を開講（共催：武蔵野銀行）しており、これまでに延べ360名以上の修了生を輩出しています。

2024年度は「新たな経営手法と未来戦略を創造する」をテーマに、仮想企業の経営幹部となり、事業計画を立案し他社と競い合う企業戦略シミュレーションを採り入れるなど、実践しながらに経営手法を幅広く学びます。また、グループディスカッションや1泊2日での合宿研修、交流会などを通じ、さまざまな考え方や情報を吸収できる全7回にわたるカリキュラムとなっています。

先月号に次いで今号では、昨年度、本養成塾を修了された株式会社サン精密化工研究所（久喜市）の岩崎さんにお話を伺いました。

第14期

延べ卒業生360名

2024

ぶぎん経営幹部養成塾

—— 新たな経営手法と未来戦略を創造する

■開催スケジュール

回	開催月	テーマ	イベント
1	10月	経営幹部の心構え・財務基礎	発会式・交流会
2	11月	企業戦略シミュレーション* (企業経営ケーススタディ)	合宿研修・交流会
3			適性診断
4	12月	プレゼン・現状認識	事前課題
5	1月	ビジョン	事前課題
6	2月	計画策定	事前課題
7	3月	発表会	閉会式・交流会

海外視察研修オプション：2025年2月頃に予定しています。

受講料とは別に旅行費用がかかります。詳細は、別途、ご案内します。

*チームに分かれて、PC上の仮想空間で会社を設立して、会社間で競っていただきます。
業績を上げるノウハウを学びます。

2023年度修了生

株式会社サン精密化工研究所

市場営業部営業課 係長 岩崎 美保子 氏



—— 貴社の概要を教えてください。

弊社は小物の精密プラスチック部品の製造とその金型を設計・製作している会社です。今年で62期目を迎えています。大手企業の一次ベンダーとして主にカメラ関係部品の製造と販売をしています。ここ数年で自動車部品の受注も増えていて、弊社の売上の柱となりました。また上海とタイにも自社工場があり、グローバルな展開をしています。私は営業課に従事しており、お客様への対応が主な業務です。お客様が何を求めているかを敏感に感じ取り、会社の強みをアピールしながら、ご満足頂けるサービスが提供できるように日々業務に励んでいます。また、お客様がお困りの時に真っ先に頼って頂ける営業窓口を目指しています。

—— 養成塾に参加された経緯について教えてください。

2023年の夏頃、上司から“受講してみないか”と打診されて初めて知りました。受講内容を拝見させて頂き、営業担当の私の日常業務とは大きく異なり、自分の様な人間が受講しても大丈夫なのかと不安を感じました。しかし一方で、そうした自分の知らない分野のことを勉強できる環境にワクワクしました。不安よりも自分がどこまでできるのかチャレンジしてみたいという気持ちの方が強くなり、1週間考えた末に参加を決めました。

—— 実際に養成塾に参加されてどうでしたか？

貸借対照表の見方など、これまで勉強したことはなかったのですが、決算書は先々、必要な立場になった時のために“読み方”から学ぶことができ、本当に良かったです。

興味を持ったプログラムはダイバーシティでした。多様な働き方が進む中、女性活躍に注目し、女性社員が今よりもっと働きやすい環境だったり、今よりもっと自信を持って働ける環境作りができるような活動がしたいと思いました。また、自己分析結果により、

今後どこを意識して業務に従事していけば良いかが明確になりました。私は自律性が低く、それは判断力にも影響をしていたので、もっと自分に自信をつけたいです。ただ、活動性や創造性が異常に高く、前向きなやる気には満ち溢れていたもので、今の気持ちを忘れずに今後も精進していきたいと思います。講義は時に学校の部活動の様な印象も持ちました。異業種の方たちと色々な意見を言い合ったり、情報交換したりと、半年間という長い間一緒に勉強ができたことは今までにない経験でした。

—— 養成塾への参加を通じて、新しい“気づき”はありましたか。

自分の勤めている会社がどういう会社なのか、普段、認識することがありませんでしたが、経営戦略、中期経営計画ビジョンのまとめを通して、自社の現状認識を再確認することができました。創業者の想いや経営理念、経営方針などをあらためて振り返ることで、私自身が初心に戻ることができました。

また、どこの会社も人に関する課題を多く抱えていて、『仕事はあるが人がいない』『若手が育たないし、すぐに辞めてしまう』など人材強化が課題だということも分かりました。

—— 養成塾を修了しての感想をお聞かせください。

半年間、緊張の連続でしたが、色々なことが学べて楽しかったです。参加者同士、肩書に関係なく対等に話ができただけで非常に居心地も良かったです。修了後は緊張感がほぐれたこともあり、“養成塾ロス”になっています。講師の先生方、受講者の仲間と有意義な時間を過ごしたことで、終わってしまった今は脱力感があります。

修了に際して、受講者全員でLINEグループを作りました。今後はグループLINEを通して連絡を取り合い情報交換していけたら良いと思います。